

フェア抜き100回されないと  
出られない部屋

く親友の元ヤン母ちゃん編く

制作…りぺあ・ぷろじえくと  
著作…はやさかうたね

目次

トラック 1	プロローグ
トラック 2	1 回…「恥じらい告白バキューム」
トラック 3	3 4 回…「嫉妬イラマ&強チン堕ち」
トラック 4	1 0 0 回…「無意識寸止めフェラチオ」
トラック 5	エピローグ

トラック 1

……起きた？　おはよ。よく眠れた？

ははっ、こんな殺風景な部屋じゃ、昼だか夜だかわかんないからねえ。

まー人間、どんな時でも寝とかなきゃあ力も出ないし頭も働かないもんだからね。

眠れただけ良しとしようじゃないか。

……というわけで、ハイツ、じゃ、朝一番のうがい、歯磨き、洗顔だっ！  
こーいう非常事態の時こそ、いつも通り、身嗜みを整えとくのが大事な  
さ。

（洗面台に移動する）

よしよし♪ 素直でいい子だね。

ハハッ、子供扱いされるのがそんなにイヤかね。

デリケートなお年頃ってヤツ？

こちらら、アンタのこと、まだオムツが取れないような時から世話してや  
ってるからねえ。

アタシにとっちゃ、いつまでも赤ん坊みたいなものだよ。

ま、どうしても大人扱いして欲しいんだったら、早く恋人の一人や二人作  
ってきてから、アタシに紹介するんだねー。

うーん？　なんか言ったかい!!

……あつそ。

しっかし……こうして毎日同じ景色ばかり見てると、ほんと、なんていう  
かねえ……ハムスターじゃないけどさあ？

ペットよろしく飼われてるような気分になってきそうだよ。

誰かがアタシらを観察してるような気配はするんだけど、かといってカメ  
ラが仕掛けてあるような穴は見当たらないんだよねえ……。

最近はあるあいうのもビックリするくらい小型化してるっていうし、どこかにあるのかねえ？ うーむむむ……。

ちつくしよ。もし誰かがこれを見てせせら笑ってるかもしれないって考えたら、腹が立ってきた！

……はあ、なんて言ったところで、出口がありそうな場所はあらかた調べつくしちゃったし。

こーんな袋のネズミみたいになってちゃ何もできないんだけどさあ……ハハハ。

とりあえず生活に必要なものはひと通り揃ってるわけだから、アタシらを生かしとく気はあるってことなんだろうけど。

こんな貧乏人2人を攫って何がしたいんだか……。

いやまあ、「させたい事」だけは……はつきりしてるんだけどねえ。

はあ……。

ご親切に日付がわかる時計を置いてくれるのはいいけどさあ……。

そうこうしてる内に、気づけばもう8日目ようかめだよ。

今頃、外はどうなってるんだろうねえ……。

ヒト2人が急に1週間も消えたんだから、騒がれないわけはないんだろうけどさ。

いつまでたっても救助が来る様子もないし、壁に耳を付けたって音ひとつ聴こえない！

どーなってんのかね、ほんとこれはっ！

……あん？

そら、こんなところに何日も閉じ込められてたら、独り言も多くなるってもんだよ。

はあ……それに、アタシはアレだとしても問題はアンタだよ。

うちのバカ息子が言ってたよ？ 今月末、試験だったんだろ？

こんなに授業すっぱかし続けてたら卒業にも響いてくるよねえ……。

（危機感の無い返答をされて真剣に説教する）

……あのねえ、中卒のアタシが言えた義理じゃないけどさ。

アンタのお母さんの為にも、ガッコーだけはしっかり出ておくんだよ。

……じゃないと、誰かさんみたいに後々後悔することになるからね。

ねえ、ちよつとこつち来て座りな。

……いいから。

一度、状況を整理するよ？

見ず知らずの部屋に軟禁されて一週間が経った。

生活に必要な設備と、当面の間は困らないだけの食料は用意されてる。

ただ、部屋のどこを探しても出入りできる場所は見つからない。

しばらく待ってはみたものの、救助が来る様子は無いし、ここからじゃ外の情報を得る手段すらない。

そして、はあ……。

「男が女に100回フェラ抜きされるまで外には出られない」って、馬鹿馬鹿しい指令……。

ご丁寧に壁に100なんて数字までドデカく表示されてるし。

これ、要は「残りの回数」ってことだろ……？ ソレの……。

そりゃあ……最初は、ただの悪趣味な悪戯いたずらかなんかだと思って、相手にする気なんてなかったけどさあ。

大体、顔も見せずに、こんなふざけたことを仕組んだ、どっかの卑怯者の思うツボになるってのも癪しやくなんだよ？

本当に「ソレ」で出られる保証なんてないわけだし……。

でも、かといってこのままウダウダしてたって、いつここから出られるのかわかりやしないだろ……？

はあ……、アタシとしたことが、潔くないねえ。

ちよつと耳、貸してごらん。

（恥じらいとためらいを交えながら）

その……ねえ？

アンタもこんなオバサン、嫌だろうけど……それしか方法がないんだっただらさ……その、やってみるかい……？ フェラ抜き……。

100回だなんてすぐできるような回数じゃないだろうし、やるなら早いうちからやっておかないとさ……いけない、から……。

ゴクンッ……ンッ、グ……アタシはほら、そーいうことも経験あるしさ……でも、アンタが……そうかい？

じゃあ……決まりだ。……ん、ゴクンッ……や、やれることは、やるだけ、やってみよつか……。

よしっ！ シャワー浴びて、身も清めたっ！

あとはあ……ととつ、まだ……まだこっち向くな！ 早いって！

心の準備つてもんがあんだろっ？

アタシっ!! アタシは、ヨユーに決まってるんだろ……。

アンタを気づかってあげてるんだよ！

……あ、うん。

そうだね……せーの、でね。せーので、向きあうんだね？

（深呼吸）

すうううう……せーのっ……！ んっ……。

ふーっ……今さらこんなんで恥ずかしがるような仲じゃないと思ってたけどさ……。

改まって裸なんて見せるとなると、緊張するもんだねえ……。

でも、これで隠しっこなし、おあいこだ！

ちよっ……あ、う……隠しっこなしとは言ったばかりだけどさ、そんなに……まじまじと見るのは、やめとくれよ……。

ジロジロ見んなって！ 女の身体が珍しいわけでも……いや、アンタの場合はまだ珍しいか……？

大体っ、こんな身体見たって、目の保養にもなりやしないだろっ……。

昔ならともかく、最近は年のせいお腹も出てきて……自慢だった胸も少し垂れてきてるし？

乳輪もアイツが産まれてから、だらしなくデカくなって黒ずんじやったし……。

……って一人で何言ってるんだらうね。

（「そっちもジロジロ見てる」と言われて）

ア、アタシはいいんだよっ！

どうせ今からフェラ抜きするんだから、アンタのチンコ見とかないといけないだろ。

こちらら、目をつぶったまま全部やれるほど器用じゃないからね……。

じゃあ、その……顔、もっと近づけるからね？ いいね？

ダメって言ってもここまで来たらやめられないからね？

……ほ、ほんとに、いいんだね？

いや、今更やめる気なんてないけどさ……ンッ……ほんとに、やるんだ、ねっ……？

……なんでアンタが急かすんだよ！ 何が「早くして」だっ……。

もうっ……心の準備するための時間をあげてるってーのに……。

オトナの気遣いがわかんない子だねえ……じゃあ、ほんとに……するからな？

ふーっ、ふーっ……さあゝて……これがアンタの……んっ、う……ゴク、ン……ふうう……なるほどなるほど、おちつけおちつけ……。

ふ、ふりん……久しぶりに見るものだからちよーつとばかしアタシの方も狼狽<sup>うろた</sup>えちゃったけどさ、ま……その、なんだね。

じっくり見てみれば、落ち着いても来るってんだ……ん……フフン。

フフフンッ……そーなんだ。

これがアンタのチンコかあ……い、今さらアタシがチンコごときにビビるかってーの。

うーん……でも、まだ勃起し足りてないみたいだねえ……。

やっぱ緊張してるのかい……？ いや、違うか。

こんなオバサンが相手なんだ、興奮しようにも難しいやね……。



ごめんね、本当ならもっと若くてキレイな子のほうがいいだろうけど……。  
やるからには、こっちも責任をもってちゃんとやるから……勘弁してくれよ？

じゃあ……まずは皮を剥いてあげようかね。

えっ？ 口でっ……？

……はあ。

「フェラ抜き」だから手で触らない方がいい、ってことかい……。

わかった、わかったよ……なんか言いくるめられてる気もするけど……じやあ、口でアンタのチン皮剥いてやるよ……ん、うう……。

（皮と亀頭の間に舌を挿し込む）

んれえええ……んっりゅううっ、んっれ……ふううむ……ン……れっろお  
おおお……んりゅっぐっ……。

ほおら、舌が入っていったよ……ん、皮とチンコの先っぽの間にさ……ん  
っ、はっ……。

ビクビクって、反応してる。

アタシの舌が触ってるの、ちゃんと先っぽでわかってるんだね……んれ  
ろ、んっれろおお……。

このままぐるぐるって回して……んっ、えっ……んろおっ、んろっろおお  
……んっれっろおおお……りゅぶ、りゅっぶう……。

どうだい？ ぐりんぐりんって舌を回すのはあ……んっふあ……んふふふ  
あああ……んりゅっふっ、りゅっぶっ……。

……って、ちよっと！ ジロジロ見るのダメだって言ってるだろ！

んむっ、れりゅれりゅうっ……どうせみっともない顔してるんだから、  
やめてくれよ……んろっんろおお。

んううう……あっう……皮と先っぽの間が狭くなって、締めつけられてっ  
……きたあ……これ、勃起し始めてるってことだよね……。

りやぶ、りゅつぶつ……ちやぶ、んれええ……なら、もうひといき……もう少しい……りゅつぐつ、れつりゅうう……。

んあ……、チンコの先つぽ……亀頭の形もよくわかるようになってきたよっ……ん……。

てかアンタ、ちゃんとここ、隅々まで綺麗にしてきたんだろうね……？

ちよつと洗いかたが甘いんじゃないかい？ りゅりゅつぶつ……ほら、ことか……この、カリのあたりとかあ……。

ところどころ……味が濃くなってる部分があるんだけどお……？

……ああそうかい、でも今後彼女が出来たら気を付けるんだよ？

初めての時に、女の子にチンカス掃除させる男なんて、みつともないからね……りゅつじゅ、りゅりゅじゅううう……。

ん、……ムクムク膨らんできた。アタシにカリ裏ベロベロ舐められて、気持ちいいのかい……？ りゅつろつ、れつろ……。

んろつ、るるるるるる……りゅりゅじゅううう……。

はへっ、はひゃ……んへえ……うは、きつつ……もう皮と先つぽの隙間がキツチキチでへえ……舌が回らない……ん、お……。

ずるるううう……りゅぼっ……んふあ……。

（皮と亀頭の間から舌を引き抜く）

ふーっ、ふーっ……だいぶ大きくなってきたみたいだね……先つぽも半ムケ状態だっ……♡

でもまだ足りないね……若いチンコならもつとバキバキに勃起できるはずだろ？

……そらアタシなんか相手じゃ、気分も中々乗らないだろうけどさ、協力しておくれよ。

ほら……アンタだって一人でセンズリこくことあるだろ……？

そんな時の要領で、なるべくコーフンするようなこと想像したりさ……？

お、おいつ、何アタシの顔見てんだよっ 興奮すること考えろって言うんだろ？

もお……そりゃ、チンコしゃぶられるの初めだったら気になるのかもしれないだろうけど……。

ああ、ほらっ……、チンコまた舐めるからねっ……！

（剥けかけの亀頭を舐める）

れろっぷっ……んっれろっ、りゅりゅっ……れろおお……♡ んっる  
れろおお……ほらぁ……先っぽがテカテカになってきた……♡

亀頭の色は、まだまだ子どもっぽいねえ……ピンク色が強くてさ、唾液で濡れ光つてると余計にそれが目立つよ……。

初々しいチンコだことっ……れろろんっ……れろろおおん……♡ 先っ  
ぽからもだんだん汁が漏れてきて……ちゅ、りゅちゅ……。

ふうっ、はあっ……べろん、ねろんっ……ん……チンコ、さつきよりも張  
り詰めてビクついてきてるみたいだね……。

ちゃんと感じてるってことで良いのかい……？ れろろんっ、れれれれれ  
っ……。

アタシも、こういうのは長いことご無沙汰だったから……。

（裏筋舐め）

ん……たしか、ここ。れろっ、ねろっ……この、裏スジとか、どうだい  
……れれれれれっ……♡

このスジに沿って舌を這わせるとお……んれれれれれえ……りやつぷ  
っ……んれろおお……気持ちいいとか、聞くよ……♡

れろろ、れろろっ……れろろんっ……れろろおお……♡ アンタ、腰動い  
てるよ♡ んんっ……わぁう……どうやら、お気に召してもらえたみたい  
だね……。

んえうれるれるる……んれれれれれえ……♡

チンコの方もどんどん大きく……てっ……アレっ？

ちよっ……アンタのチンコって、こんなにデカかったんだ……？

あ、いや、そのっ！ 驚いちゃいけないけどさ。これくらい……？

べ、別に、この程度、見慣れたもんだしっ……？

けどっ……あ……アンタにしちゃ、思ってたよりは、デカくて……生意気だなんてねえ……。

しかもさっきまで皮かむりだったくせに、勃起したら完全にズル向けで……うおっ……なんだか凶悪になっちゃって……。

(チン嗅ぎ)

知らないうちに、ここはもうすっかり大人だったなんて……んは……ズル剥けたら匂いも強くなって……ん、ふっ……くんくん、んくっは……♡

すんすんっ、スンスンっ……はぁっ、すはぁぁ……くんくん、すんすんすんっ……はぁぁ……♡ん、はぁ……♡

とくに……このカリ首のくぼんだ部分のニオイが強いねえ……♡

チン皮の1番奥で隠れちゃってる部分じゃないか。まったく……ここもアタシにキレイにさせたいってのかい♡

れろちゅ……りゅりゅっ、りゅっ……りゅふうう……♡　こうやってえ……♡　れっろお……。

ちゅっ、ちゅっ、ちゅりゅりゅうううう……♡

んっ、ちゅ……ゴクン♡　ふうっ……。

ここまでデカくなったら準備も完了ってところかねえ……♡

ここからもっと、アタシも気合入れていくから……さあて、どう料理してやろうかね……このチンコ……ううん。

ここまでぶつとくなったら、もうチンコじゃないね……チ・ン・ポ、だぁ……♡

(口をパカッと開ける)

アタシの口まんこで抜いてやるから……んばぁっ……♡

ああああん……ほらぁ♡

こ、こんなオバサン相手じゃ興奮しきれないだろうけどさ……。

そこら辺の生娘きむすめよりかは、フェラ抜きフェラの作法、心得てるはずだよ……？

はあはあ……♡ だからさあ、安心してチンポ預けてくれていいからねっ♡

アンタのフェラ抜き童貞、アタシが貰ってやるからっ……♡

（ペニスを口に含んでいく）

んっもっ……んもっふっ、んもふうううう……じゅうつぶっ、んもももももももっ……んむもほおお……もおっほ、むおっ……♡

はああ……ふっとっ……♡ お口の中で、ビクンビクン動いて……あはっ……チンポたまらないみたいだねえ……♡

むおっぶっ、むふ……こりや、ヤバイね……根本まで全部咥え込めるかどうか……も（ご）♡

むほっごっ……むうふううう……むっぼっ……むうつぶっ、むふおっ……♡

じゅっぶっ……じゅっぶむっふっ……むじゅっぶっ……むっぶっふっ……じゅっぶっ、じゅじゅっぶっ、じゅるっぶっ……♡

（引き抜く）

んっ……むふあっ！ ふーっ、ふーっ……こりやなかなか、大物だあ……♡ 頬張るだけで、こんなに難儀するチンポなんて初めてだよ？

それと、この先っぽからドクドクあふれてるトロットロの汁はあ、アタシのヨダレじゃないねえ……♡

（ペニスにキスする、吸い付く感じ）

チンポのガマン汁うう……はあっ、はあっ……ちゅ♡ ちゅっ、ちゅっ……じゅるっ、んっ、ゴクッ……ほおら、やっぱり♡

まだまだケツの青いガキな癖して、いっちよ前に濃厚なオスの味させてえ……ちゅ、ちゅっ……ちゅぴっ♡

本当に生意気なヤツだねえ……じゅぱっ、ちゅぱっ、ちゅりゅりゅるりゅうううう……♡

むふう……♡ わかってんだろぅねえ？ 男が見栄を張る時は最後まで貫き通すもんだよ……。

アタシも気合いの入りまくったバキュームフェラ……披露してやるから♡  
カッコいい射精キメるアンタの姿、アタシに見せてみなよ……♡

（バキュームフェラ）

んもっごっ……♡

じゅっぽぽぽっ……うじゅっぷっ、むっじゅうう……んじゅっぷっ……  
じゅるっぷっぽほお……おぶっ、むほっ……んっぐうん♡

ちよぶっ……んっぽぽぽっ、じゅっぽっ……どうだい？

アタシのフェラテクはあ……もっごお♡

チンポがデカイ分だけ、ほっぺの肉が密着してるだろお？　じゅぽっ……  
ぶっぽ♡

じゅじゅっちゅっ、じゅっぽお……じゅるっぷっぽっ、ンッグっ……ぽ  
じゅじゅ……んっごっ♡

ほらあ……先っぽから、チン汁ドクドク出っ放し……♡

デカ太いくせに情けないチンポだねえ……こんなオバサンの口まんこな  
んかにいいようにされちゃって……♡

ちゅるりゅりゅる……ぽっちゅっ♡ぽっちゅっ♡ぽっちゅっ♡ぽっちゅ  
っ♡

ぽっちゅっ♡ぽっちゅっ♡ぽっちゅっ♡ぽっちゅっ♡

んぶっちゅっ♡　じゅうつぶっ、じゅうつぶっちゅっ……♡

ふふっ、チンポもだいぶ仕上がってきたみたいだねえ……でも、まだまだ  
高めるんだ……♡

今以上にもっとアタシのジュポフェラの快感に集中しないとダメだよ  
……？

ほら、目閉じてみな？　じゅぶるりゅっ……♡

アンタにも、ガッコーやらバイト先に好きな娘の1人くらいいるんだろっ  
……？

その娘のことでも頭ン中に思い浮かべていればさ、アタシなんかの口まん  
こでも……じゅぽぽ……。

って……オイ。だからなんで余計に目を見開いてんだっつの……じゅぽぽ  
ぽっ……そんなに見られたら、逆にこっちが集中できないよ。

んっ、ぐちゅっ、ちゅっぐう……だからさ、何度も言うけど！

好きな人のことを……好きな……ふええ？ その好きな人……が、アタシ  
……？

（驚いてペニスを口から離してしまう）

なっ、あ……ちよ、あ……うう……♡ ふえああ……？ きゅ、急に何を  
言い出してんのさ……冗談言うようなところじゃないだろっ。

うう。まったく……まったく……バカだねえ、ほんと……。

ああもうっ、いいから！ おかしなこと事言っでないで、さっさとアタシ  
の口まんこで射精しろっ！

じゅっぽっ、じゅっぶじゅっぽぽぽおっ……じゅっぽっ、じゅっぶっ  
……じゅっぽっぢゅるっぽぽっ……じゅっぽっ……♡

ここに来てからは満足にオナニーも出来なかっただろうからねえ、こっで  
り溜め込んだザーメン、根こそぎぶっこ抜いてやるよっ……！

そしたら変な勘違いもすぐに収まるだろうからねっ……じゅぽっぶっ、ん  
っぐじゅっぽっぽっ！

じゅっちゅっぶっ、じゅぶぶぶぶっ……んうっぶっ、ふぶむうふう……  
ぶっぽ、ぶっぽぶっぽっ……はああ……ガチガチのぶっといチンポはお  
お……♡

むふううううっ……おっぽぽっ……むぽぽっ……♡

雄マラどんどんおっきくなってるうう……びっくんびっくん脈打ってえ  
……おっぶふっぶっ……うっぽっ♡ じゅぽうっぽっ♡

ほらあ、出しなっ、出しちゃえっ♡ 出してしまえっ♡ くだらない冗談  
を言う余裕なんてっ、無くしてやるっ……じゅぽぽぽっ♡

や、やめろっ。真剣な顔で好き好き言っなっ！ あとで、あとで聞いて  
やるからっ……！

じゅっちゅじゅっちゅっ、じゅつぶっ、んっぐじゅぼっぼっ……じゅつぶ  
じゅつぶうう……ほら、ほら♡ イケっ♡ イキなっ♡

大人をからかう生意気なデカチンポっ、アタシのバキューム口まんこで成  
敗してやるっ……♡

ぶぢゅりゅりゅるううううっ……！

ぶぼっ♡ぶぼっ♡ぶぼっ♡ぶぼっ♡ぶぼっ♡ぶぼっ♡

ぶぼっ♡ぶぼっ♡ぶぼっ♡ぶぼっ♡ぶぼっ♡ぶぼっ♡

んぐむうっふうううっ……じゅぶぶぶうっ、じゅっちゅうう♡

んお、来たっ……チン元膨もとらんでザーメンのぼってきたっ♡

エググい射精来るくるくるくるくるうう……♡

んぼぢゅぼぢゅぼぢゅぼぢゅぼぢゅぼぢゅぼぢゅぼぢゅぼぢゅぼぢゅぼぢゅ  
……♡

……んぼおっ♡

(絶頂ポイント)

んっぐむふうううううっ♡ むぶへえええっ……んぶむっふっ、ん  
ッ♡ んゝゝゝッ♡

ごくっ……んッ♡ ごくくっ……むっへっ♡ むはああ……んっ、ん  
っ……んっ。んぐむふううう……ゴキュ♡

ごくく……ごくんっ……むぶふうう……ごきゅ、ゴキュッ……ふ、ううう  
う……ふう、はあっ……ん、ぐふうう……ふうはあ……♡

(吸い付きながら引き抜く)

ん、ぶっ……んちゅじゅるうううう……ちゅっつっぽんっ♡

ふーっ、ふーっ……ふーっ……ふう、はああ……むうふううう……はあっ  
……はあっ……ゴクッ……ん……はあっ……♡

馬鹿みたいに出してくれちゃってえ……ふーっ……ふーっ……♡

あ、うう……まだ口の中にいっぱいこびりついてるよ……ゴクッ、ゴクン  
っ……ンッグっ……はああ……♡



ふう、はあ……はあ、お疲れさん……。

アタシも歳を取ったとはいえ、たった1回でこのカロリー量かい……。若  
さつてのは恐ろしいねえ……。

って……んんっ？

……ちよっと、見てごらんよ。壁の数字が100から99になってる！

どーいう仕組みかサッパリだけど、ちゃんとカウントされてるみたいだね  
……。

あれが0になった時に本当に出してもらえるっていう保証は無いけど……  
かといって他にやれることもないからねえ。

そんじゃ、一縷の望みにかけて、ふえら……今やったこと、続けてみるっ  
てことで、良い？

アタシも責任もって、気持ちよくなるよう努力するからさ……。

（急に恥ずかしがっていることをからかわれて）

……うるさいねっ、さっきはヤケクソだったんだよっ！

……はあ。

それと……さっきアンタが言ってたことは、聞かなかったことにしておい  
てあげるから。

これは過去に色々やらかしてきた、人生の先輩からのアドバイスだけど  
……、一時のテンションだけで、あんまり無責任なことばかり言ってる  
と、後で必ず痛い目みるからね？

……いや、これは絶対に気の迷いってヤツだよ。

外に出て若い娘の顔の一つや二つ見れば、すぐに晴れるに決まってるさ。

……はいはい。好きに言ってな。アタシは口濯いでくるからね。

いいかい？

しばらく休憩したら、2回目……するからね？

2 : 1 回 : 「恥じらい告白バキューム」

まだまだ先は長いんだ……ッ♡

変な気起こす余裕も無くしちまうくらい、徹底的に搾りとってやるから、  
今から覚悟しとくんだね……♡

トラック3

（33回目のフェラ抜きを終えた直後。フェラチオに対する恥じらいは薄れ、主人公にも絆され始めている。）

ンンッ……ごくんっ……んはああ……ぷっはあ……♡

もう、ほんと相変わらず、しっつこいザーメンなんだから……♡

濃くて口の中にこびりつきまくって、ん……全部飲んだつもりでもお……んもほっ……口の中で舌を回すと、あちこち残ってる……♡

んうっぐっ……ゴクン……ッ♡ ふっっ……♡

こういうの、フツ―はどんどん薄くなっていくもんだろ？

それが、回数こなすほど濃厚になっていくってのは一体どういうことだい。

まったく……アンタがこんな逞しいドでかチンポだったなんて聞いてないよ……♡

今だって……たっぷり又いてやったばかりなのに、バキバキに勃起し続けてっ……。

もうっ、もうっ……いくら若いにしても元氣過ぎだろ……♡

バカっ……まだ言ってるよ。「好きな人の前だから本気のチンポだ」なんて、誰が信じるもんかい。

こんな……年増のオバサンを前にしてさ……。

大体、毎度アンタが調子の良いこと言っておだてるから……ついアタシも興が乗っちゃって、年甲斐もなく盛り上がっちゃうんだよ……。

あー恥ずかしい恥ずかしいっ。

ほら、あれ見てごらんよ、カウントは67……ってことは、フェラ抜き33回分ときたもんだ。

シャブってるアタシも大概だけど、それだけ射精できるこのチンポの凄さだよ……。

しかも1回1回が口の中から喉奥まで流し込まれてあふれ返ってくるくらい、多くて濃くてくっさあい精液でさあ……♡

思い出ただけでも……アンタのチ、チンポお……♡ングツ♡ ゴク……ゴクン♡ ふはぁ……♡ よくもまあ、あんなに……んふぁ……♡  
ふう、ふう……ジュルツ……ゴクン。

んっ……で、でもさっ、これで3分の1まで終わったってことになるね……。

最初は100回なんて途方もない数字だと思ったけど、続けてればそれだけ近づくもんだねえ……。

残り3分の2。多いのか少ないのか……少ないわけないか。でも……なんとなく、現実味は出てきたねえ。

そのためにも、まだまだアンタのチンポには頑張ってもらわないと。

今日も朝から3連続で抜いたばかりだしね、少し休もうよ。

（「まだ出来る」と言われて）

……あのねえ、アタシの方が疲れてんのっ！

あんなに連続で又いてやったってのに、まだチンポおっ立てて……盛りのついた犬かつつうんだよ……。

ホント、若さって恐ろしいもんだねえ……。

までも、そーいうもんか。かくいうアタシも、アンタくらいの歳の頃は色々が無茶なことばかりしてたからねえ……。

……ああそうだよ。

地元の悪い奴はだいたい友達だったし、クスリに盗みにケンカ……人殺し以外はなんでもやったさ。

……フフ、もちろんウソだけどね。

捕まるほどのことはしてないけどさ……でも、ま、男に関してはだらしないところはあったねえ。

当時は気に入った男がいたら、片っ端から食い散らかしてたもんさ。

とつかえひつかえして、常に相手に困ることはなかったねえ。

中には、「注文の多い」男も多かったからさ……わかるだろ？

そのせいで色んなテクも自然と身に着いてったよ、ハハハ……♪

そうやって刹那的に生きてるのも、最初のうちはそれなりに楽しかったんだけどねえ……。

けど段々……回数こなせばこなすほど、なーんか満たされなくなってきた。

そんな時に、うちの旦那に会ったんだ。

なーんか見てくれもナヨナヨとしてるし……あの頃アタシがつるんだたような悪ぶった奴らとも全然違ってた、「冴えない男」だなんて思ったもんだけど。

……でも、優しかったんだよねえ……アタシも単純だからさあ、ちよつと大事にされただけでコロツと旦那しか見えなくなっちゃって……。

それで子供ができたら、そのまますぐ結婚しちゃったわけだ。

それから、あの人にも「ママ」って呼ばれるようになって……スケベなこともパツタリなくなっただけ……。

まー、そこに至るまでに散々やり溜<sup>た</sup>めてたようなもんだから、おかげ様で欲求不満とかにはならなかったよ。

子育ても充実してたからね。どっかの誰かさんのせいで、1・5人分<sup>いってんこ</sup>しいといけなかったわけだし……♪

（我に返って恥じらう）

って！ あーもう！ そうだよ！ 自分で言ってて思い出しちゃったじゃないかあああ！

アタシ、いまっ！ その時できた子……息子と！ 同い年の子供のチンポを抜きまくってるんだ……。

ああ、もう……なんてことだよっ……♡

（嫉妬に駆られ、勃起したペニスを見せつける主人公）

えうっ……？ ちよつと、何してんだい……急にチンポ突き出して……！

あ、あっ……脈打ちが、早い……それに、びっくんびっくん首を振りまく  
って……うつわっ……えっぐっ……♡

ちよ、おいっ……なんだよこれ。なんだよ……こ、この、極太チンポおお  
……♡

はーっ、はーっ……おかしいだろお……こんなに勃起するとかっ……朝イ  
チならともかく、さっき3連発で散々射精したあとだろうにっ……♡

(ペニスを無理やり口に突っ込まれる)

んぶっ……ちよっとな！チンポ、顔に押し付けるんじゃないよっ……。

わかった、わかったからっ……！

ふーっ、ふーっ……わかったよ……♡ 啜えろっというんだろっ……？

さっきの今だけど……4連発目、34回目のフェラ抜き……してあげる  
よっ……うつ、もっ♡ もごおお♡

(頭を掴んでのイラマチオ、以降啜えさせられた状態での台詞)

むおもっごっ!! むふうっごっ……んっむっ、んっむふっごおおっ……  
むっほっ♡ むおっほおおうっ♡ むおうっふうううっ♡

ちよ、おっ……んぼぼぼぼっ♡ じゅっぼっ♡じゅっぼっぶっ、じゅぼぼ  
ぼぼっ♡

むっごっほっ♡ じゅっぼっ♡ じゅぼっぼぼっ♡ んっぐじゅっぼおお  
おおっ♡

けほっ、んくけほっ♡ ふっおっ……♡ ちよっ、こらああ……おぼぼ  
ぼぼっ♡

そんなっ、無理やりっ……うぼぼぼっ♡ ちゅっぼちゅっぼずちゅっぼ  
ぼっ♡

(引き抜く)

ぶっぼっ、ぬっぼっ、んうぐむうんっ……ちゅっぶっぼっ♡ むっはああ  
あ……♡

むへえええっ……おぼっ……けほっ、けほっ……♡

(引き抜き、すぐに突っ込む)

はーっ、はーっ……はあああ……どうしたのさ……はあっ、いきなりっ……乱暴に頭掴んでっ……おっぽおおおっ♡

むぶふうううう……♡ んっぐっ、んっぐううううう……♡

じゅるっぽっ、ぶじゅるっぽっ……おっぽっ♡

ち、ちんぽが……喉の奥まで来るうううっ……ブチ込まれっ……おっごお♡

うぶふううう……♡ んえっへっ……？

「質問に答えろ」ってっ……口がふさがれてちやっ、うっぶっ♡

ま、まともに答えらんないってば……じゅっぽっ、じゅぽぶっ……♡

あんんっ……ちゅぶ、うぶっ……ち、ちんぽおお……♡

い、今まで啜えたモノの中でえ……こ、このチンポはあ……♡ い、1番っ、1番だよおおおっ……♡

だって、じゅっぽっ、じゅちゅっぽっ！んじゅずるうっ……うぶっはあ……♡

だってえ、3発抜きまくって、まだ勃起し続けるチンポなんてえっ……他に、知らないっ……♡

ああ、そうだよっ……旦那のチンポより大きいっ♡

太さも、長さもおおお……♡ ザーメンの量もおっ……♡ キンタマもおおっ♡ ぜ、全部うう……んおお♡ おごっ♡ うぶじゅっぽぽぽっ♡

そ、そうかい……このバカチンポはあ……♡ こういうのがっ、興奮するんだっ……♡ じゅじゅじゅっ、じゅっぞっ……♡

んぐっ、ゴキュッ……ゴキュキュッ♡ 先っぽからあ、オスジュースう……♡

ドロッドロの濃い先走り汁う……なだれ込んでくるうう……ごきゆうんっ♡

だったら、アタシもお……喉奥開いてえっ、猛り狂ったオスマラっ、受け入れたげるっ、から……♡ んぽおっ……♡

はああつ、はあつ……いいよ……♡　それでアンタがつ、チンポがつ、喜んでくれるならあつ……。

あ、アタシの、口まんこお……突きまくってっ、ブチ込みまくってもおおうつぶつ……じゅっぽっ、むふううんッ♡

んもおっ……♡

ぶもお♡ぐもっ♡ぐもっ♡ぐもっ♡ぐもっ♡ぐもっ♡

ぐもっ♡ぐもっ♡ぐもっ♡ぐもっ♡ぐもっ♡んごっ♡

ずちゆるううう……♡　はあつ、はあつ……♡　虫も殺さないくらいっ、優しそうな顔しててさあ……ちゅじゅっ、じゅるっ……♡

じゅっぶっ、じゅっぽっぶっ、ぽぶっ、ぐちゅう……ゴクンッ……♡　ヤラシーことにもおっ、奥手そうだったのにな……♡

す、すっかり、チンポお……あああ……♡　チンポでもモノを考えるようにっ、なってたんだねっ……ぶじゅっぶっ……♡

んもっ♡　んもっ……んもももっ♡　ぐもふっ……♡

っおっ、おおおっ♡　カリがあ……おごごっ♡　喉の奥引っ掻いてるウ……♡

こんなとこまでっ、届くチンポなんて、なかったのにひい……おっごおお♡　チンポッ♡　おごっ……ち、ちんぽほおお……♡

うえっ♡うえっ♡うえっ♡うえっ♡うえっ♡

うえっ♡うえっ♡うえっ♡うえっ♡うえっ♡

んをっ♡んをっ♡んをっ♡んをおあっ♡

んずぶぢゅりゅるりゅううう……♡

……げほおっ！……んうおあっ♡んうおあっ♡んうおあっ♡

んふっぐっ……あ、アタシ……アタシの口い、本当に、口まんこになるうう……♡

オスに動かされてチンポをしぼるためのフェラ穴あ……♡



オナホコキ穴にされてるううう……じゅつぶつ、ぐちゆるるるっ……んぼ  
つぶつぶっ♡

うぶうう……ゴクン♡　ゴクン……♡　お口の中あ、こね回されてっ、か  
き回されて、ぐちよぐちよおお……♡

ほんとのオマンコみたにい……ドロッドロおおお……あぶつ、じゅつぽ、  
うぐつぶっ♡

やっぱっ……ゴククッ♡　これまでよりも、もつとお……♡　ただでさえ  
濃くて多かったガマン汁が、もつとっ、もつと……♡

んっぐっ、んぎゅっ♡　ゴククンっ……♡　アタシのヨダレとグチャグチャ  
に混ざってええ……！

♡　どどん飲まないっ♡　すぐ溢れるっ♡　溺れるうううん……ゴクンッ

じゅつぶつ♡　じゅつぶじゅつぶつ……おつぶううう……♡　それにチン  
ポもほおお……バカみたに太くっつ♡

こんなのっ、若さだけじゃないよっ♡　アタシが若い頃にだっつ、こん  
なチンポ無かった♡

こんなチンポ知らなかったあ……女殺しの凶悪ちんぽおお……ぶじゅつぶ  
っ……じゅつぶっ、むつぶっ♡

んぐううんっ……うぶつ、うつぶっ♡　うつぶっ、むつぶっ……ずちゅ  
ぶつぶっ、むふあ♡　おうんつぶっ♡　ふぶっ……♡

んおおおお♡　ゴリゴリっつ、奥ううう……♡　奥までノドをこじ  
開けて来るううう……おごっ♡　おっ、もっ、おッッ♡

むぐぐっ、むっげっ……ずりゅう……♡　はああ……アタシ、穴あ……  
アタシはあ、このどデカ絶倫チンポ専用の穴あ……♡

ザーメン排泄をさせるためにっ♡　ドバドバ噴き出てくる濃厚ザー汁ミル  
クを受けるためのお、くっさあいチンポミルクポットおお……♡

おへっ♡　おへえええっ……♡　おおっほっ♡　も、もつとおお……♡  
もつとアタシを突いてええ……♡

ずじよつぶっ……おつぶううう……♡　はああっ……チ、チンポ♡

んあああ♡ 太すぎるっ♡ カタすぎるう……逞しすぎる肉マラあああ♡  
♡ もごっ♡ おおっごっ……♡

ずちゆるううう……♡ はああ♡ こ、このチンポのザーメン……ほ、  
欲しいっ……♡

どんなコッテリ濃厚な精子が出るのかっ……はああ……喉奥で感じてみ  
たいい……♡

ぐむっむっ……じゆるっぷっ♡ ぶちゆるっぷうう……ちゅうっぷっ  
……んっ、んえへええ……っ♡

も、もっと暴れてっ、もっと太くなるうううん……じゅおっぷっ……じ  
ゅぶっぽっ……♡

あうぶうう……♡ こんなチンポお……♡ う、打ち込まれたらっ、精  
子ぶちまけられたら、アタシっ、ザーメンで溺れるううウ♡

溺れたいいい……溺れたいのおお……♡ あなたの巨根ザーメンを飲まさ  
れ続けてっ♡

濃縮されたドロッドロのエロコンデンスミルクザーメン中毒になっちゃっ  
てるのおお……♡

飲ませてええ……飲ませてええええっ……♡ とびっきりの精子を♡ 精  
液をお♡

ドバドバ注いでっ♡ ゴキユゴキユ喉を鳴らしてしっっこいザーメンのの  
ど越しを味わわせてええええっ……♡

じゅぶ♡ じゅっぶぶぶっ♡ チンポっ♡ チンポっ……じゅぶっぶぶぶ  
ぶぶっ……んじゆるうう……じゅぶ♡ じゅぶっぷっ♡

うえっぐ♡うえっぐ♡うえっぐ♡うえっぐ♡うえっぐ♡

ずじゅっりゅりゅるるうう……ずぼぼっ♡

ふうううンッ……ああ♡ クルっ♡ チンポお、もうすぐ弾けるうう  
う……♡

巨根おちんぼ、アタシのお口でコキ抜いて、お情けの超濃厚ザーメン頂け  
るのおおお……♡

(ピストンを止め焦らされる)

んぶっ、んっ……ん、え♡ えっ……♡ な、なんでとめるの……♡ も  
うすぐなのにいい……もうチンポ爆発寸前でしょお……♡

あ、あ……♡ そうね、わかった……♡ 宣言するっ……しますからあ♡

あ、あなたのお、極太勃起巨根チンポ様がっ、1番だからっ♡ あ、アタ  
シの負けだからあ♡

お情けをちょうだい♡ ザーメン大好きなっ♡

あなたの精子とチンポに屈服したいやらしいドスケベマラ媚びフェラおば  
さんのお口に……全部注いで欲しいのほおおおお♡

……おほっぶっ♡

んおっぶっ♡ んおっぶっ……むふううっ♡ むっふうううっ♡ むぐ  
ふうううう……あぶっ♡

く、来るっ、あああ♡ 鬼マラ顔面ファックで、喉マンコにザーメンぶっ  
こまれるうっ♡ じゆるずばおっ♡

ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡

ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ ばるるる……！

ごっごっ！ごっごっ！ごっごっ！ごっごっ！

ごっごっ！ごっごっ！ごっごっ！ごっごっ！

……ごっごっごっごっごっごっごっごっごっごっ！！

(絶頂ポイント)

んぶっもおおお……おほほほほほっ♡ むっぽおお……おごお♡ お  
ほっ……うほほほほ……おっへえええ……♡

んごっ♡ ふごっ……んぼああ……の、飲み切れっ……なああっ♡

ゴククッ……ごきゅっ♡ ごきゅっ♡ ごつきゅきゅっ♡ おほはあああ  
……ッグッ♡ むぐうう……♡

ゴクン、ゴクッ♡ ゴキュキュキュッ、ごっくうううんっ……♡ むっ  
はっ……むっへえ♡ ごくく……おっぽああ……♡

んぐっ♡ ングググッ……ごくうん……はあっ、はあっ……あぶ……う  
つぶっ……ちゅばっ、ちゅつぶっ……うぶふああ……♡  
じゅるっ、ごくっ……じゅるるっ……ごくくんっ……ふあうっ……おおっ  
ほっ……おおほおお……んっへっ♡ んへっ……♡

(引き抜き、飲み切れなかった精液が逆流する)

うぼぼおお……むおっへええええ……う、お……ちゅぼんっ♡  
けほっ、げほっ……んげっふっ……げぷっ♡ げええっぷっ……げへっ  
……んえ……ゴクッ、ゴクン……ふう、ふうっ……はーっ……♡

はあっ、はあっ……はーっ……も、もうっ……♡ はあっ、はっ……はあ  
ああ……ふうはあ、ふうう……♡

はふっ……むふはあ……ああ……なんてチンポだい……♡ お化けみた  
いに何度でも勃起してっ……ふー、ふーっ……はあ……♡

まったく……今までこんな激しいチンポしゃぶりなんて、したこと……さ  
れたことっ、1度もないよっ……ふう、はあっ……♡

んえっ♡ げっぷっ……♡ お、おお♡ 飲み込んだはずのザーメンが、  
おごっ♡ 多すぎて、逆流してくるうう……んげええっ♡

お、ぶっ……ゴクン、ゴキュッ……ンッギュッ♡ はあっ……は……  
あああ……♡

こんな強いチンポに、こんなっ、乱暴なことされたらあ、アタシ……どう  
にかなっちやいそうだよっ……。

ふう、ふううっ……おいコラっ……なにを満足そうな顔してんだい。

喜ぶんじゃないよっ。今は説教してるんだっ！ ハアッ、ハアッ……  
ふう……。

へっ……!!

(抱きしめられ、激しいディープキス)

んむっ!! んっ……もっ……るむっ、るもっ、んもっ……。

ふうふう……♡ んぶっ……ちゅっ♡ むちゅ♡ ちゅりゅるっ♡

29 / 46

部屋から一歩でも外に出たら、ここで起こったことは、お互い全部忘れるんだ……。

だから、それまでの間は……今だけは……♡

そのチンポでアタシのこと、めいっばい躑けておくれよ……♡

はい、お粗末さま。

にしても、ほんつっと、良く食べるねえ……ここ何日かは、運動らしい運動もしてないってのに。

……そら当たり前だろ。こちら、アンタが赤ん坊の時から飯の世話を任されてたんだ。

味の好みなんて、全部知ってるんだよ♪

けどねー、昔は大変だったんだよ……？

アンタ、人一倍身体は大きかった癖に、食わず嫌いが多くてさ……♪

野菜だの魚だの、どうやったら食べてくれるかって、アンタのお母さんと頭を悩ませたもんだよ……。

……って、ダメだね。ついつい昔話ばかりしちゃうってのは年寄りの悪い癖だよ、まったく……。

……その、さ。

そっちからは見えないだろうけど、今丁度0時を回ったとこなんだ。

……うん、約束してた時間。

(隣に行っても良いか聞かれて)

……えっ？ うん、いいよ。

……と、とうとう最後になっちゃったねえ……次で100回目、正真正銘最後のフェラ抜きだよ。

100回だなんて、最初はとんでもない数字だと思ったけど、いざここまで辿り着くとあつという間だった気がしてくるねえ。

フフ、これが終わったら、また元の慌ただしい生活に戻らないといけないって考えると、なんだか名残おしさすら感じるよ……。

……バ、バカッ、誰もチンポしゃぶりのことだなんて言っていないだろう……！

家事に追われずにのんびりできる環境が気に入ったってだけの話だよ……。

大体、アンタが「最後のフェラ抜きをする前に、3日間空けて欲しい」なんて急に言い出すから、その分日数も増えてるんだからねっ。

……わかってるよ、これが本当に最後……こんなことこれっきりにしないといけないんだ。

惰性で回数だけこなして互いに未練が残るようじゃいけないからね……♡だからアンタも、この3日で金玉の中身溜め込んでサイッコーにえっぐい射精するための準備してたんだろ？

……いいよ。アタシもアンタの心残りとザーメン、一滴も残さないつもりで吸いつくしてやるから覚悟するんだよ。

……何度も確認して、しつこい様だけどさ、これが最後の確認……。

「外に出たら、この部屋で起こったことはお互い全て忘れる」……わかってるね？

アンタはアタシにとって息子の友達、アタシはアンタにとって友達の母ちゃん……なんてこたない、今まで通りの関係に戻るだけさ……。

……うん、そう言ってくれると安心できるよ。

そうだよね、アンタにとってもアイツらは家族みたいなモンだものね。

悪かったよ、ここ一番って所でシラケるようなこと言っちゃったね……。

……うん。

そんじや、あんまり焦らしすぎるのも可哀想だし……、100回目……最後のフェラ抜き、始めようか。

じゃ、失礼するよ……？

フフ、腹も膨れて、チンポの方もスケベなことする準備万端って感じだね。

パンツ脱いでなくてもバッキバキにいきり勃ってるのがわかるよ……♪



どれどれー……♪

(臭い嗅ぎ)

……つて、んおっ!! くっさあ……♡

けほっ、げほっ……おっ、おお……♡

すんっ……ちよつとアンタ、なんだいこのむせかえるような強烈なチンポの臭いは……♡

すんっ、すんっ……おっ♡ えっぐう♡

アンタっ、さてはこの3日間、わざとシャワーでチンポだけ洗ってこなかったんだろ……♡ こんな鼻腔まで突き抜けるようなイカついチンポ臭……♡

すんっ♡……お、くっさあ♡

ったく、アンタもつくづく人が悪いよお、このチンカス塗れの肉棒を、アタシのお口で掃除させようってんだろお♡

最後の最後にとんだサプライズを用意してくれたもんだねえ……♡

すんっ、すううう……おほおおお♡ くっせええ♡

……ふうふう♡それに、溜め込んでたのは臭いだけじゃないみたいだねえ♡

たったの3日抜かなかったくらいで、信じられないくらいに大きくなっちゃってえ♡

金玉もプリップリに膨れ上がってる……♡このバカチンポ、一体どんな射精するつもりなんだよ……♡

ほんと、腹立つくらいに勃起して……なんだよこの凶悪な、血管のビッキビキに浮き出まくったグロチンポはさあ……♡

友達の母ちゃんなんかで……アタシなんかで勃起してんじゃないよ、まったく……♡

(吐息吹きかけ)

ふうっ、ふうっ……ふうふううっ……はああ……ふううっ……はああああ……♡、おっ、くっさあ♡

ああ、息を吹きかけただけで、脈打つ……デカちんぽ……♡ ふううう……はああ……♡

これを、このチンポをつ……デカ勃起巨根を、あと1発、抜いたらっ……終わり……ああああ……♡ 終わっちゃうんだあ……♡

ふうううっ……ふううう……♡ すううう……おっ、やつべえ……♡

すえた汗の臭いとチンカス臭の混ざったオスクっさい最低のアロマあ

……♡ 脳天まで突き刺さって……おっ、キクううう♡

ふっううう、ふうううう……♡

そ、それにい、熱もお……♡

ああ……♡ まだ触れてすらないのにさあ、チンポの周りの空気があっついんだよお……♡

40手前のババアなんか、こんなどぎついマジ勃起見せつけちゃってさあ……どうするつもりなんだい、このわるいチンポはあ……♡

早くアタシに抜いて欲しいのかい？ ぶるんぶるんって急かすみたいに首振って……せっかちなやつだねえ……♡

(ペニスに頬ずりする)

フフ……♪

あああ……あつつううう……♡

……んん？ 悪いかい？

この頬ずりは、これまで付き合ってくれたチンポへの、アタシなりのお礼と餞別だよ……♡ ん、おっ、クッサ……♡

熱くたぎったドスケベ巨根チンポからあ……<sup>にが</sup>苦クツサイカウパー汁出てきたあ……♡

おっ、ふううう……ふううう……♡

（ちんぽビンタ）

あうんっ♡ ちよっ、あんっ♡ なんだよこのあばれっぷりはあ……♡  
チンポで頬つぺたビンタするなあっ♡ あんっ♡ んっうっ♡ あああん……♡

アタシの顔おっ♡ アンタのチンカスとガマン汁でベチョベチョになっちやったじゃないかあ♡

チンポと顔が糸でつながって……んっあ……ぐちよぬるうう……♡

チンポの臭いが顔に染みついて取れなくなったらどうするんだいっ……♡

んゝおっ♡ チン汁キつくうう……♡

んはああ……はああああ……♡

（舐めフェラ）

ふうう、ふううう……んもうっ！

れっろおおお……れっろん、んれろおおお……♡

ほらあ、反撃開始だよお♡

チンポの臭い取れなくなる前にい……れれれれっ……♡

おほっ、くっせ♡ この亀頭の表面でぬらぬら光ってる濃密なガマン汁とお……えろれろれろっ♡

カリ裏に頑固にこびり付いたチンカスう……るりるりるりい♡

ふむおっほ♡ ……ド下品なポコチンミックスペースト……♡

アタシの舌で根こそぎ舐め取ってやるうう……♡

ちゅれっろおっ……ちゅれっろろろお……♡ ねろんっ、べろんっ……はあうううん……ゴクっ……♡

味も濃すぎるだろ……黄ばんだコッテリチーズう……おっ♡ 喉にしつこく絡んで飲み込みづらいたらありやしない……♡

れろっちゅっ、れっろ……ねろんっ、れろんべろんっ……れっろんっ……れろんっちゅっ、べろおおん……ちやぷっ、ちゅっぷ……♡

くっそお……♡ アンタのチン汁、舐めても舐めてもてっぺんからドクドクってあふれて流れ落ちるから、キリがないじゃないかあ……♡  
んっべろおお……ンはあああ……♡

ああ、ほらもったいないっ♡ 裏スジに沿ってカウパー汁がとろおおっつてこぼれて……、竿元から天辺まで、ぜっくんぶ舐め上げてやるっ♡  
るろおおおおおお……じゅるっれっろおおおお……♡

あうん……チンポ汁おいしっ……♡ れっれれれれえええ……れっ  
れろおおン……れろん、れろおお……♡

ほらここ……カリ首も念入りにほじくってやるよっ……♡

この窪みい、ここがチンカス作りの総本店なんだろお……♡

れっ、れっ……ぴちや、れっれっ……んうはああ……♡

おっほお♡ くっさあ♡ しよっぱあ……♡ かため、濃いめ、多めのチンポスナック……こんな味、一度覚えたら癖になるじゃないかい♡

れろりゅっぶっ……りゅぶっ、るれっ、りゅうっ♡

ン、ンッグ……ゴクン……はあああ……♡ カリ裏掃除してる間もアンタの濃厚カウパースープ、全く止まる気配がないねえ♡

これは大元からやつつけないとダメなヤツだあ……ふふっ、ドクドク垂れ流し続ける悪ううい、鈴口いい……♡ チンポ穴あ……♡

(鈴口にキスをしてついばむ)

ちゅっ♡ ちゅっ……ちゅっじゅ♡ ぢゆるうう……ンン♡

おっほおお……アタシ、先っぽのチンポ穴から、直接、カウパー汁を吸ってるうう……♡

じゅっちゅっ♡ じゅじゅっじゅううン♡ じゅっちゅっぢゅう……  
ぢゅっちゅるううンッ♡ ぢゅっっ♡ ゴクン……んぶあ♡

はあっ、はあっ……♡ ちゅ♡ むちゅっ♡

カリデカ巨根とデープキスしてるよお、アタシ、このチンポの恋人にさせられてる……ちゅっばっ♡ ちゅっ♡ ちゅばっ……ぢゅっちゅっ♡  
ぢゅりりゅりゅううう……っば♡

んっ、ゴクッ……ン♡　　ンッグッ、ゴクッ……♡　　ふうううう……♡

こんなの、今日限りなんだからねえ……♡

こんな、こんな……サイッターのチンポお……♡

クソナマイキなどデカオスマラなんてねえ……♡

アタシのフェラ抜き専用口マンコで、さっさとトドメを刺してやるよっ♡

（唇をカパッと開ける）

……んっばあっ♡

（ペニスを口に含み、激しいストロークフェラ）

あもっ……おっごおおっ……♡　　んぼぼぼぼっ……じゅるっぶっ……♡  
ぶっぼっ、むっごおおっ……むぶっぼぼぼっ♡　　むっぼおう♡

はああっ、はあっ……ちんぽ♡　　ちんぽほおお♡　　チンポッ♡　　あああ  
あチンポほおおっ……♡

もおごっぶっ、むごっぶっ♡　　ごっぶっ♡　　ごっぶぶっ……ぐぼっぼ  
んっぼおおっ……おっぼおおんっ♡　　ふもっごおおっ♡

ぶっぼ♡　　ぶっぼ♡　　ぶっぼ♡　　ぶっぼ♡　　ぶっぼ♡　　ぶっぼ♡

じゅぶっぼっ……んっぐうううう……はあっ、はあっ……んっぶうっ  
……どうしたんだい？　　そんな顔してえ……♡

ふふっ♪　　もう余裕が無くなってきたのかい？

そんな可愛い顔見せられたら俄然燃えてきちゃうねえ……んっぼっ、ふお  
っぼぼぼっ、おっぶっ♡

ぶっじゅっぼっ！　　ぶっじゅっぼぼぼっ、じゅっぼぶっぼぼっ！　　んお  
っぶっ、ほおっぼっ……はああっ、はあっ……♡

ゴクッ、ンッグッ♡　　チン汁の味もどんどん濃くなるううう……♡　　これ  
え精子がカウパーに混じって来てるうんっ……ゴククッ、ぐびっ♡

（若干名残惜しそうに）

もう……イキそうなのかい？

……ん（こ）っふ♡（こ）っふ♡（こ）っふ♡（こ）っふ♡（こ）っふ♡（こ）っふ♡（こ）っふ♡（こ）っふ♡♡

ぶぼっ、ぼっぼっ……ぼちゅりゅるりゅ♡

（引き抜く）

じゅっぽぽぽぼぼっ……ん、ふううう……ちゅっつっつっつぽん♡

（無意識のうちに寸止めをしてしまう）

ふーっ、ふーっ……ごめんね……♡

ちよつと、口が滑っちゃってえ……♡ 射精寸前のチンポ離しちゃったよ  
お♡

れろろろ……♡ ヨダレとガマン汁の混じったどろどろチンポ♡ んりゅ  
れれれれっ……じゅる♡ ちゃぷっ……べろんっ♡ れろんっ……♡

キレイにしたら、啜えなおしてあげるからあ……じゅるっれっろおん  
……べろろろおんっ……べっろおんっ♡ じゅばっ……じゅる、ゴクン  
……♡

アタシ……アンタのチンポストロー吸い過ぎてっ、チンポ汁中毒になっち  
やったみたいだよお……♡

カウパー酔いでクラクラするうんっ……べろろろっ、べちゃああ……♡

ふう……ふう……♡

（激しいディープスロットフェラ）

さあ、もう1回い……はあも、んぼぼぼぼっ♡ んっぐっ、むぐうう  
……今度はあ、ま、丸呑みいい……んっぼっ、おっごおお……♡

ふもおおお……♡ んっもおお……♡

ぼっぶっ♡ ぶっぼっぶっ♡ じゅっぽぽぶぶっ……ばるるるっ♡

んぼっ……ぜえぜえ♡

これえ……このカリ高チンポで喉奥引っ搔かれる感覚、えっぐう……♡

アタシの喉お、まんこにされちゃったんだあ……♡

こんな深いところに性感帯作られたらあ……もうフツのちんぽなんかじや絶対に満足できない……ぶっぽぽぽ……じゅっぶっぶっ♡

ガン突<sup>つき</sup>き口まんこファックで喉アクメ……するのなんかあ、名残惜しくな  
いつ……♡

さっさと抜いて、ウチに帰るのおっ♡

んぶぽおっ、ぶっぽぶっ♡　じゅぶぶっぽぽぽ……ぬぶっぽっ♡  
ぼちゅぼちゅゅっ♡

ばぼっ♡ばぼっ♡ばぼっ♡ばぼっ♡ばぼっ♡ばぼっ♡ばぼっ♡

んっごっ♡　んんっごおっ……チンポがあ喉ちんぽドツしてるっ……  
おっごっ♡　んおっごっ、んっごっ……んげふっ……♡

じゅぶっぽっ、ぐむうううんっ♡　ごっぶっ♡　ごっぶぶっ……ん  
っぐふうううっ……はあっ、おとおお……♡

(寸止め)

ぶむううっ……んぶっむうううっ……♡　ふっぶっ……はあああ……ん  
……っぶっ……ずっろおとおおおん……♡

あとおおんっ……ふううう、ふうううう♡

ご、ゴメンよ♡　せっかくイク寸前だったみたいなのにつ……喉奥突かれ  
まくってくるからっ、むせちゃって……♡

(「寸止めしているのか」と図星を突かれ動揺する)

……え？　寸止め……なんてアタシがするはずないだろ……。

だって、ここから出なきゃ……こんなこと、早くやめなきゃいけないのに  
……。

だって……、それじゃまるでアタシが……チンポ恋しさに未練がましく時  
間だけ引き延ばしてるみたいじゃないか……。

そんなの、完全に母親失格じゃないか……。

そんなの……そんなの嫌だあ……！

(可能な限り激しいディープスロートフェラ)

……んがぽおっ、んむつももおお♡

むごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡ごっぶ♡

ばるりゆりゆりゆううう♡

出るの♡ 出るの♡ 出るの♡ 出るの♡ おおお♡

さっさと出て、アタシは母親につ、アンタは息子の友達にい、戻らないといけないんのお……もっこ♡ むごおお♡

おぶぶぶっ♡んごぶりゅっ♡ じゅぼちゅっぽっ♡ ちゅぼっ♡ ちゅっぽっぽっ♡

このままアタシのロビラがアンタのおチンポに、くっついて離れなくなっちゃう前にいつ……♡ ぶばるるるるっ♡

じゅるっぶっぽぽっ……じゅぼっ、んぶっぐっ、むっぶうう……♡

ぽっぶっ……はあっ、はあっ……♡ 出るのおっ♡ 戻るのおお……終わっちゃうのほおお……ぶぼっぶっ、ぐぼぼっ……♡

ぶぼっぶ♡ばっぶ♡ばっぶ♡ばっぶ♡ばっぶ♡ばっぶ♡ばっぶ♡

だせっ♡ だしえええ……♡

アタシの喉奥子宮にいい……3日分の圧縮ザーメン……♡ 黄ばんだドロドロゼリーちようらいいい……♡

ぶっぶっぽっ♡ ごっぶっ♡ ぐぼぼ♡ ぐぼぼっ♡ ぐぼぼっ♡  
ぐむふうううンンンッ♡

ぐっむふうううっ♡ ぶっぽっ♡ んっぶぐっぽぽぽっ♡

ほぼお……ああぶ♡ ヤダヤダやだあ♡ くる♡ きひやううう……♡

ちんぽお♡ ちんぽ爆発するうう……♡

ゝもっもっもっもっもっもっもっもっもっもっ♡

ぶばぶりゅずりゅうううう……♡



んべろんっ、べろんっ……ねろおお……じゅっぞっ、じゅぞぞぞっ……♡

ングっ、ごくん……ごくっ、ごく……♡ ふーっ♡ ふーっ……ふうう  
ううっ……ほらあ、キレイになったよお……？ ん、はあ……♡

はあっ、はあっ……これで、フェラ抜き100回達成だねえ……♡

ああ、ほら……数字のカウントがゼロになって、向こうの扉が開いたみた  
いだよ……？

あそこから外に出ろってことなのかねえ……。

ふう……ふう……♡

ねえ、念の為確認しとくけどさあ……♡

アンタ、私たちの約束……忘れちゃないだろうね？

……んー？

アタシはそんなこと言った覚えはないよお♪

（ディープキス）

んっ……ちゅっ、ちゅっ、ちゅむりゅっ♡

はあも、あむっ、ちゅぴっ、ちゅりゅぶっ♡

ほら、舌もつと突き出しな♡

んえれるれるれるるろお……♡

りゅりっ、るもっ、るれるるえるれえ……♡

ちゅっちゅっ、はあむちゅりゅりゅりゅう……♡

んっ……ふううう、ふううう♡

アタシはね、「この部屋から出るまでの間は」アンタの女になる、って言  
ったんだよ？

だからあ、100回目のフェラ抜きが終わってようが、扉が開こうが……  
この部屋に居る限り、アタシはアンタの女のままって……♡

なにせ3日間も溜め込んでたんだあ……アンタのチンポだって、これくら  
いじゃまだまだ満足してないはずさ……♡

重たい金玉抱えたままじゃ、家まで帰るのだって一苦勞だろ……♡  
ロスタイムだよ……♡ 一休みしたら、101回目のフェラ抜きスタート  
だ……♡

(ディープキス)

はあむりゅりゅっ、ちゅぷっ、ちゅりゅるぅううっ♡

るもるもるもっ……ちゅぷ、ちゅっ、じゅるりゅるぅうううっ♡

トラック5

（部屋から脱出して1週間が経過。主人公が宮子の家に泊まりに来ており、宮子はリビングで息子と話をしている。）

まったく……ほんと、災難だったよ。

結局、犯人は見つからず終いで、なんで閉じ込められてたのかも、誰に怒っていいのかすらわかりやしないっ！

警察の連中も、偉そうにアレコレ聞いてくる癖に、手掛かり一つ掴めてないって話さ。

まったく、使えない連中だよ……。

はあ……。

でも、ま、こうして無事に戻ってこれたんだから、それだけでも感謝しとくべきなのかねえ……。

ほんと、殺風景な部屋でさ。

アイツ……ガッコーの単位落としちゃったのは可哀想だけど。

でも、話相手が居てくれて助かったよ。

もしあんな長い時間一人で閉じ込められてたら、頭がおかしくなっちゃうところだったからね。

……あん？

そんな心配すんなって。まったく……普段はアタシのことなんてゼーんぜん気にかけない癖にさ。

……別に無理なんてしてないっての。

こうやって普通に夕飯作ったり、掃除したりしてた方がいつも通りで落ち着くんだから。

手伝うとか気持ち悪いって！

いいから、アンタはさっさと風呂に入って来なって。友達同士で遊ぶのは風呂入って夕飯食べた後ね！ はい、行った行った！

ふう〜……まったく、相変わらずの、バカ息子なんだから……。

ところで……アンタも、帰って来てからずっと取り調べだっただろ？

疲れてるんじゃないのかい？

……そう、ならよかった。

さて、晩飯の下ごしらえも終わったとこだし、アイツの言う通りに、アタシもここいらで休憩させてもらおうかね……。――

「主婦」の時間は終わり……ここからは「悪い女」になる時間だあ♡

(デープキス)

んっ……ちゅっ、ちゅぷっ♡

ほら、もっと口空けて、舌出して……♡ れっろっ……れろんっ、れろっろお……ちゅる、ぺっちゃああ……ちゅっぷっ、ちやぷ……♡

んー？ なーに驚いてんだい？ じゅっぷ……んぷはあ……ッ♡

じゅるうっ……んっぷはあゝっ♡ ふう〜っ……♡

……そうだよ？ あの部屋で起きたことなんて何一つ憶えてないねえ♪

アタシはただあ、目の前にしゃぶりがいの有るデカチンポが付いてそう  
な、シブーい男が目の前に居たから襲ってるだけだよ……？

1週間も会えなかったせいださ……溜まってるんだよ……♡

ほら、出して……チンポっ♡ はやくうっ……♡

さっさとエググイ太マラ、出せってえ……♡

(パンツを脱がせる)

んふっ……あああ、それ……♡

血管浮き出たバッキバキの凶悪チンポお……♡ やっぱり女の勘つてのは  
不思議と当たるもんだねえ……♡

バカ息子は早風呂だし、もうすぐ旦那が帰ってくる時間だからねえ……♡

まずは挨拶がてらにサクツと早抜き……♡

でもお、もちろん1発じゃあアタシもチンポも足りないからねえ、トーゼン夜も付き合ってもらうよ？

みんなが寝静まった後、こつてりと時間をかけながら、何度も何度もフェラ抜きするんだ……♡

チンポも、キンタマも、ザーメン漏らし過ぎておかしくなっちゃうまで、口まんこで抜いてあげるう……♡

はああンっ……チ、チンポおお……♡

もうアタシの舌も、唇も、頬肉も、喉もお……このチンポの味と臭いと形が染みついちゃってるんだからあ……♡

1週間溜めた、濃厚なプリップリのザーメンんっ、いただきまあすっ……♡

(高速フェラ)

んぱあッ……♡

んっぶぶぶぶっ……ぐぶ、じゅぽぽぽっ……♡ ぐっぶぶぶっ……♡

んっぶっ、じゅっぶぶぶっ……じゅぶっ、むぶぶっ……じゅぽぽっ♡

じゅぽっ……んっちゅっぽっ……♡

ちゅっじゅっ、ちゅっじゅっ……じゅるっぶっぽっ……んっぶう……ちゅぽぽっ……ぽちゅ、ぽっちゅっ……ちゅっちゅるっ♡